

令和7年度第1回防災部会議事録

◇日時 令和7年4月24日(木) 19時~20時15分

◇場所 松林公民館 2階 第2会議室

◇出席者 15名

川口(中赤) 渡辺・早川(下赤) 船越・田近(菱沼)・福井(高田) 高橋・花元(室田)
齋藤・中村・吉原(ニュータウン) 廣田・宮下(シヨクサンピラ) 後藤・村松(オクトス)

*敬称略

1. 部会長挨拶について

(1) 7年度部会で今年度の「松林地区防災訓練」の具体的取組内容を決めていきたい

2. 防災対策課挨拶について

(1) 参加者：茅ヶ崎市防災対策課
沼田氏(新担当者) 中山氏(4年目)

3. 役員選任について

(1) 会長選任

→吉原前会長が退任する

・新会長として村松 章生氏(オクトス湘南茅ヶ崎)が推薦され、参加者全員の賛成を得た

・正式決定は、5月24日のまちぢから協議会役員会での承認後とする(吉原前会長)

(2) 副会長2名選任

(3) →池田副会長が退任する

・部会で募集したが、立候補者がいないので次回部会までに決めていきたい(村松氏)
→高橋 潔副会長は続投となる

(4) 会計

・新会長が兼務する 次年度も会長兼務体制を踏襲する

(5) 書記

・渡辺 一幸(下赤)氏が継続とする

4. 出席者の自己紹介

5. 令和7年度 地区防災訓練について

これ以降は村松氏の提案書「松林地区防災訓練企画概要」(案)の資料を基にする議事進行

■松林地区防災訓練企画概要(案) 論議内容を下記表にまとめた

①日程提案 ④訓練対象者 ⑧実施したい訓練内容

→訓練日を2回設定としたい

① 1回目は、9月7日(日) 9時~11時

④訓練対象者は、防災関係者(自主防災組織役員・防災リーダー)とし、実施内容を事前に訓練してもらう

⑧ 訓練内容は、避難所資機材取扱訓練

① 2回目は、11月30日(日) 9時~12時

④訓練対象者は、住民及び防災関係者(自主防災組織役員・防災リーダー)とする

⑧訓練内容は、避難所開設・運営訓練

- ・松林地区としては、昨年まで総合訓練型で発電機、トイレ、テント等の訓練は行ってきているので、内容を「避難所」開設と運営の訓練としたい

②会場について

- ・松林中学校 体育館及び中庭（グラウンド）
→2回とも同校で実施予定
- ・松林中学校としては、使用可能了解は取れている

<意見>

Q:2回実施は、難しいのではないか 今ここで決めなくてもよいと思う 各自治会（長）が持ち帰り検討し、次回以降に決める方向で検討願いたい（川口氏）

A:6月部会までには決めたいと思うので持ち帰りご検討いただきたい（村松氏）

訓練目的は、避難所開設、運営訓練をすることによる組織的活動の促進
従って R7年度は「活動型訓練」を実施したい

- ★「小和田地区防災訓練」の事例を、訓練の進め方等の参考としたい
- ★小和田地区へ、指導のお願いや話しを聞き行くことも検討したい

<意見>

Q:「小和田地区防災訓練」での参加数はR4年97名 R5年92名であった 村松氏の案では11月30日に住民参加を予定しているが、住民が参加するとなると大規模人数（6年度では350人）になる 避難所の開設と運営訓練では多数の住民に参加してもらう必要はなく、1自治会あたり10人程度の「リーダー的な人」（役員、防災リーダー）が参加することでよいのではないか（川口氏）

A:小和田地区に比べると多いが検討してみる（村松氏）

⑦想定する災害について

- ・風水害を想定した訓練としたい

<理由>

- ・令和元年10月12日台風19号が襲来した時の各自治会での対応状況や課題等を参考にした「避難所開設」の訓練を提案したいから
- ・防災訓練ポイントBOOKに、地震発生時の避難所開設訓練があるが、それを参考にしたい

⑨その他（訓練企画上の特記事項、備考）について

- ・茅ヶ崎市には災害に関する各種のハザードマップやVACAN（QRコードから避難所の混雑状況が確認できる仕組み）等いろいろ役立つ教材があるので、今後防災対策課と調整し、防災部会メンバーに配布できるよう調整したい
- ・防災課中山氏より
今年度も、7月に防災リーダーフォローアップ研修、2月に防災リーダー養成研修を予定している。

2025年4月26日 渡辺書記作成



防災部会 HP

次回 5月30日（金）19時～ 松林公民館 第2会議室